

令和7年度 旭川市農業センターの取組について

◎農業センターの主な役割

- ・ 地域に根ざした農業試験研究機関として、生産現場のニーズに対応した試験研究や土壌分析等を行い、それによって得た結果や情報を生産者に提供することにより農業生産の基礎を支えるとともに、担い手確保のための新規就農対策や、持続的・安定的な農業生産のための土づくり対策を推進しています。
- ・ 都市と農村の交流に関する事業として、市民の皆様が農業に親しんだり、地域の農産物について理解や関心を深めていただくための取組を進めています。

◎農業を取り巻く課題

- 少子高齢化による担い手・労働力不足
- 生産コストの上昇
- 気候変動に伴う栽培環境の変化

農業技術支援に関する事業

1 地域の課題に対応した試験研究（R7：14 課題）

【農業センター管理費 R7：67,333 千円】

（1）市内の基幹品種選定に関する試験（主な関係先）

- ・ 夏秋トマトの品種比較試験（旭川青果物生産出荷協議会トマト部会）
- ・ サヤインゲンの品種比較試験（同 豆部会）
- ・ 低温期におけるリーフレタスの品種比較試験（同 サニーレタス部会）
- ・ 高温期におけるチンゲンサイの品種比較試験（同 チンゲン菜部会）

（2）新たな品目や栽培法、資材等の導入に関する試験（主な関係先）

- ・ 夏秋ナスの養液栽培試験（養液栽培ナス生産者）
- ・ クラウド型複合環境制御装置を用いたナスの養液栽培実証調査
- ・ サツマイモ苗の増殖実証試験（JA あさひかわ・東旭川・たいせつ）
- ・ 下水汚泥焼却灰由来肥料の効果検証試験（市下水処理センター）
- ・ シャインマスカットの栽培試験（JA あさひかわ）
- ・ ブロッコリーの直播栽培試験（西神楽農民連盟） ほか

2 生産現場への普及

- ・ 品目部会の生産者研修会・試験ほ場の見学
- ・ 職員による現地巡回・個別相談対応
- ・ 「栽培マニュアル」の作成・提供
- ・ 試験成績書（概要版）の配布・HP公開



旭川市内における無加温ハウスでのサツマイモ苗増殖マニュアル（2025年版）

旭川市農業センター



令和6年度旭川市農業センター試験成績書（概要版）

「サツマイモ苗増殖マニュアル」「試験成績書（概要版）」

3 新規就農者及び新規園芸参入者の育成

【農業担い手研修育成費 R7：284 千円】

（1）新規就農者の育成

- ・ 北海道認定の研修教育機関として2年間、農業センターにおいて研修を実施（指導農家による栽培実践研修含む。）
- ・ 就農後は、訪問技術指導等により営農をサポート
- ※R1 から R7.5 までの研修受入 16 人
（内訳（人）：営農 10、研修中 4、研修中止 1、離農 1）

（2）新規園芸参入者の育成

- ・ 新規就農後概ね5年までの生産者及び新たに園芸作物の栽培を始める生産者を対象とした研修及び訪問指導を実施
- ※連携中枢都市圏8町の研修生も研修に参加可能

（3）農業センターにおける研修内容

- ・ 栽培技術、機械整備、ハウス施工、労務管理、マーケティング等の営農に不可欠な専門知識を学ぶ内容
- ・ R7 は新たに農業センター栽培ハウスでの栽培研修を実施



講義



ビニールハウス施工研修



生産者ほ場の土壌断面調査

4 持続可能な営農のための土づくり支援

【土づくり対策支援費 R7：7,048 千円】

- ・ 適正施肥のための土壌分析診断の実施（R7 予定 2,100 点）
- ・ 土づくりに特化した巡回訪問
生産者を個別訪問し、作物の生育不良等の原因特定や対策の提案、土壌改良方法等についての指導・助言を行う（年間延べ 80 戸程度）。
- ・ 『土づくり通信』の発行（年 4 回発行。市内全生産者に配布）

5 残留農薬事故防止の取組【クリーン農業技術試験研究費 R7：1,080 千円】

- ・ 市内産野菜の農薬残留実態調査の実施（30 検体程度）
- ・ 調査結果を基にした生産者への啓発活動

都市と農村の交流に関する事業

【農業センター管理費 R7：67,333 千円】（再掲）

1 市民向け講習会の開催

（1）家庭菜園講習会

- ・ 野菜の栽培や土づくりの基本を学ぶ市民向け講習会（果菜類の仕立て方法等の実技講習含む）
- R6 実績：5 回、152 人
- R7 予定：5 回、188 人程度
- ※日頃の家庭菜園相談にも対応



（2）農産加工体験会

- ・ アイスクリームづくり・豆腐づくり・トマトジュースづくり体験会
- R6 実績：4 回、39 人
- R7 予定：6 回、54 人程度



（3）「学んで食べてみよう！」講座

- 農業センターが試験している市内産野菜をテーマにした講義（市内での栽培状況や栽培技術、試験研究の目的等）と試食を通じ、旭川産野菜の認知度向上につなげることを目的として開催
- ・ R6 実績：1 回（さつまいも 55 人）
- ・ R7 実績：2 回（さつまいも 43 人、長ナス 30 人予定）



2 農業・農村に親しむ場の提供

（1）市民体験農園（有料）

- ・ 一般区画（16 m²×96 区画）
- ・ 有機栽培体験区画（32 m²×5 区画）
有機農業や有機農産物に対する関心・理解を増進するため試験的に開設中（R5～7）

（2）農産加工室・和室・ホール（有料）

- ・ トマトジュース、豆腐、みそ、アイスクリーム等の農産加工体験ほか

（3）農業公園の開放



農業公園